

## 目次

## 第1章 医薬品に共通する特性と基本的な知識

1-I 医薬品概論	1
1 医薬品の本質	1
2 医薬品のリスク評価	3
3 健康食品	4
1-II 医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因	5
1 副作用	5
2 不適正な使用と有害事象	8
3 他の医薬品や食品との相互作用、飲み合わせ	9
4 小児、高齢者等への配慮	11
5 プラセボ効果	16
6 医薬品の品質	16
1-III 適切な医薬品選択と受診勧奨	17
1 一般用医薬品で対処可能な症状等の範囲	17
2 販売時のコミュニケーション	18
1-IV 薬害の歴史	19

## 第2章 人体の働きと医薬品

2-I 人体の構造と働き	22
1 胃・腸、肝臓、肺、心臓、腎臓などの内臓器官	22
2 目、鼻、耳などの感覚器官	31
3 皮膚、骨・関節、筋肉などの運動器官	33
4 脳や神経系の働き	36
2-II 薬が働く仕組み	38
1 薬の生体内運命	38
2 薬の体内での働き	40
3 剤型ごとの違い、適切な使用方法	41
2-III 症状からみた主な副作用	42
1 全身的に現れる副作用	42
2 精神神経系に現れる副作用	45
3 体の局所に現れる副作用	45

### 第3章 主な医薬品とその作用

3-I 精神神経に作用する薬	49
1 かぜ薬	49
2 解熱鎮痛薬	53
3 眠気を促す薬	56
4 眠気を防ぐ薬	58
5 鎮暈薬(乗物酔い防止薬)	59
6 小児の疳を適応症とする生薬製剤・漢方処方製剤(小児鎮静薬)	60
3-II 呼吸器官に作用する薬	61
1 咳止め・痰を出しやすくする薬(鎮咳去痰薬)	61
2 口腔咽喉薬、うがい薬(含嗽薬)	64
3-III 胃腸に作用する薬	66
1 胃の薬(制酸薬、健胃薬、消化薬)	66
2 腸の薬(整腸薬、止瀉薬、瀉下薬)	69
3 胃腸鎮痛鎮痙薬	72
4 その他の消化器官用薬	74
1) 浣腸薬	74
2) 駆虫薬	75
3-IV 心臓などの器官や血液に作用する薬	76
1 強心薬	76
2 高コレステロール改善薬	78
3 貧血用薬(鉄製剤)	79
4 その他の循環器用薬	80
3-V 排泄に関わる部位に作用する薬	82
1 痔の薬	82
2 その他の泌尿器用薬	84
3-VI 婦人薬	85
3-VII 内服アレルギー用薬(鼻炎用内服薬を含む。)	86
3-VIII 鼻に用いる薬	88
3-IX 眼科用薬	90
3-X 皮膚に用いる薬	93
1 きず口等の殺菌消毒成分	93
2 痒み、腫れ、痛み等を抑える配合成分	95
3 肌の角質化、かさつき等を改善する配合成分	96
4 抗菌作用を有する配合成分	96
5 抗真菌作用を有する配合成分	97

6	頭皮・毛根に作用する配合成分	97
3-XI	歯や口中に用いる薬	99
1	歯痛・歯槽膿漏薬	99
2	口内炎用薬	101
3-XII	禁煙補助剤	102
3-XIII	滋養強壮保健薬	104
3-XIV	漢方処方製剤・生薬製剤	107
1	漢方処方製剤	107
2	その他の生薬製剤	108
3-XV	公衆衛生用薬	109
1	消毒薬	109
2	殺虫剤・忌避剤	110
3-XVI	一般用検査薬	113
1	尿糖・尿タンパク検査薬	113
2	妊娠検査薬	114

## 第4章 薬事関係法規・制度

4-I	薬事法の目的	115
4-II	医薬品の分類・取扱い等	116
1	医薬品の定義と範囲	116
1)	一般用医薬品、要指導医薬品と医療用医薬品	118
2)	毒薬・劇薬	121
3)	生物由来製品	122
4)	一般用医薬品のリスク区分	123
2	容器・外箱等への記載事項、添付文書等への記載事項	125
3	医薬部外品、化粧品、保健機能食品等	127
1)	医薬部外品	127
2)	化粧品	128
3)	保健機能食品等の食品	129
4-III	医薬品の販売業の許可	132
1	許可の種類と許可行為の範囲	132
1)	薬局	133
2)	店舗販売業	135
3)	配置販売業	137
2	リスク区分に応じた販売従事者、情報提供及び陳列等	139

1) リスク区分に応じた販売従事者等	139
2) リスク区分に応じた情報提供	141
3) リスク区分に応じた陳列	146
4) 薬局又は店舗における掲示	147
5) 特定販売	149
6) その他の遵守事項等	150
<b>4-IV 医薬品販売に関する法令遵守</b>	<b>151</b>
1 適正な販売広告	151
2 適正な販売方法	154
3 行政庁の監視指導	155
4 苦情相談窓口	157
別表 4-1 医薬部外品の効能効果の範囲	158
別表 4-2 化粧品の効能効果の範囲	158
別表 4-3 特定保健用食品：これまでに認められている主な特定の保健の用途	159
別表 4-4 栄養機能食品：栄養機能表示と注意喚起表示	159

## 第5章 医薬品の適正使用・安全対策

<b>5-I 医薬品の適正使用情報</b>	<b>160</b>
1 添付文書の読み方	160
2 製品表示の読み方	166
3 安全性情報など、その他の情報	167
4 購入者等に対する情報提供への活用	169
<b>5-II 医薬品の安全対策</b>	<b>170</b>
1 医薬品の副作用情報等の収集、評価及び措置	170
1) 医薬品・医療機器等安全性情報報告制度	171
2) 企業からの副作用等の報告制度	172
3) 副作用情報等の評価及び措置	173
2 医薬品による副作用等が疑われる場合の報告の仕方	173
<b>5-III 医薬品の副作用等による健康被害の救済</b>	<b>174</b>
1 医薬品副作用被害救済制度	174
2 医薬品 PL センター	176
<b>5-IV 一般用医薬品に関する主な安全対策</b>	<b>177</b>
<b>5-V 医薬品の適正使用のための啓発活動</b>	<b>179</b>

別表 5-1	主な使用上の注意の記載とその対象成分・薬効群等「してはいけないこと」	180
別表 5-2	主な使用上の注意の記載とその対象成分・薬効群等「相談すること」	183
別表 5-3	「医薬品・医療機器安全性情報」：一般用医薬品に関連する主な記事	185
別表 5-4	企業からの副作用等の報告	186
別表 5-5	医薬品・医療機器等安全性情報報告制度	186

正 答
-----

第 1 章	医薬品に共通する特性と基本的な知識	187
第 2 章	人体の働きと医薬品	192
第 3 章	主な医薬品とその作用	199
第 4 章	薬事関係法規・制度	213
第 5 章	医薬品の適正使用・安全対策	220